

令和 2 年 1 ・ 2 月号 (271 号)
(皇紀 2680 年) 毎月 1 日 発行

編集人 瀬戸 開

新風

発行人 魚谷 哲央
年間購読料 2,000 円

維新 政党 ・ 新風 本部
〒604-0934 京都市中京区麴屋町通二条下ル
第 2 ふじビル 4 階
TEL.075-708-3700 FAX.075-708-3800
<https://shimpu.jpn.org/>
otayori@shimpu.jpn.org

主体的政治勢力化へむけて 内なる戦後体制の超克が必須

代表 魚谷哲央



昨秋の平成から令和への御代替りの諸儀が、種々の問題点を孕みながらではあります。が、滞りなく肅行されたことは先づは慶賀の至りです。さて、この令和時代初頭の維新 政党 ・ 新風 第九期 (令和 二 (四年) 代表に再任されま

知らずな挑戦も
生じてゐます。
世上盛り上がり
てゐる今夏の東
京オリンピック・
パラリンピック
も国家的行事と
して成功を納め
ねばならないこ
とは当然ではあ
りませんが、そ
の華やかさとは裏

腹に国際情勢や国内政治・社
会の先行きは平成時代と比し
て格段の激動波乱が予想され
てをります。

ブラックユーモアか！ 中共・習近平主席国賓招致

四月に予定されてゐる中
共・習近平主席の国賓招致は、
米中对立の厳しい現況の中で
中共の対日接近の明白なる意
図を知つてか知らずか、敢へ
て火中の栗を拾ふが如き愚策
を安倍首相は選択してゐます。

その意図を安倍首相は「国益
を決して損なふことはない」
と自信気に強弁してをります
が、天皇陛下御訪中の悪しき
道筋をつける売国的行為だと
しか言ひ様がありません。ス
パイ容疑で拘束されてゐる邦
人の件、尖閣諸島周辺で連日
の様に行はれてゐる領海侵犯
の件、犯罪国家・北朝鮮の後
盾の件、東シナ海のガス田
の件、香港・ウイグル・チベッ
トへの人権侵害の件、台湾へ
の露骨な侵略企図の件、その
他国際的経済慣行における
様々な不正行為等々、独立主

権国家として看過してはなら
ない諸問題に目をつぶり、国
賓として遇するに何の国益が
あらうか、あらう筈もありま
せん。今日既に中共の懐柔策
に取り込まれて国益を大きく
損なつてゐるのです。独裁を
強化してゐる中共の手段手管
に翻弄されて後日臍を嘔むこ
とは、過去の上皇陛下御訪中
を思ひ返しても歴然ではあり
ません。ビジネス優先の財
界の意向に沿つて米中両国双
方間で蝙蝠の如く上手く立ち
廻らうとする独立主権国家と
してあるまじき軽佻浮薄、ま
さに戦後体制固定化を意図す
る安倍首相の面目躍如です。

か言ひ様もありません。
吾等、保守派にあらず

私共維新 政党 ・ 新風 は結党
以来、戦後体制打破を党是と
した政治勢力化を志し、その
橋頭堡として先づは参議院選
挙比例代表への挑戦を位置付
けて来ました。戦後体制打破
とは、戦後体制の担ひ手・自
民 党 保守 政権 に対する 反体制
政治活動であり、保守派政治
活動ではありません。戦後軽
視されて来た国史・文化伝統
を回復しようとの考へは当然
であります。あくまでも自
民 党 的 戦 後 政 治 を 打 破 し よ う
とする起点を忘れてはなりま
せん。

戦後体制固定化を図る安倍
政権に安易に加担・補完せ
んとする保守派に対して、明確
に一線を画す結党の趣旨を常
に反復するところからしか令
和時代の混迷するであらう政
治社会状況に対処することは
できません。吾等は未だ少数
派であり、国政に議席も有せ
ず厳しい道筋ではあります。が、
怯んではなりません。勿論、
政党活動である以上、政策的
な幅を持たなければなりません
が、吾等が国会の議席を指
向するのは、個人レベルでの
意図ではなく政治勢力化の一
指標としての戦略です。その
理解が残念ながらわが党周辺
において甚だ希薄であるのが
現実です。

参議院選挙に挑戦するより
も地方選挙に特化して政治基
盤を確かなものとしてから国

政選に臨む現実路線の主張が
よく為されますが、国政選へ
の流れのない地方選は、地方
議員を輩出できればできる程
議員の地位の個人的確保が優
先される方向に転じてしまふ
ことが目に見えてをります。
あくまでも国政への志向 (政
治勢力化) を国民に示して心
ある賛同者を糾合して行かな
ければなりません。決して
容易な道ではありません。勿
論その流れの中で地方選への
取り組みを並行して行くこと
は当然です。

新風驟雨

しんぶうしゅう
▼「戦後政治の総決算」「戦
後レジーム (体制) からの新
たな船出」を政権の旗印に
掲げてきた安倍首相は、こ
こ一年、亡国とも言ふべき
政治姿勢を貫いてゐる。▼
第一は昨年三月の参議院本
会議での答弁だ。骨子は、
「皇籍を離脱された方々は、
もう七十年以上前の出来
事であり、今は民間人とし
ての生活を営んでをられ
る。それを私自身が GHQ
の決定を覆す事は全く考へ
てゐない」。皇籍離脱された
旧宮家の復帰は有り得ない
との見解は、輿論等の民意
が根拠なら異論はあれど解
らないわけではないが、GHQ
決定を覆す事が念頭に
無いとは絶対的に許し難い。
▼第二は、昨秋の大嘗祭の
中心施設たる大嘗宮の屋根
を古来の茅葺きから板葺き
に変更して造営した事だ。
宮内庁の異常の判断を首相
は黙認。これに先立ち各界
有識者が連名で「伝統を尊
重した大嘗宮の御造営を求
める要望書」を首相及び宮
内庁に提出したが、完全
無視された。▼第三は、皇位
継承を先帝陛下の御意向た
る「讓位」ではなく「退位」
として位置付けて諸儀式を
肅行した事だ。次の御代替
りに向けて、不敬極まるこ
の悪例は必ず断ち切るべ
し。▼第四は、現下最大の政
治案件たる習近平「国賓」招
聘問題だ。全国から憤怒の
声が上がつてゐるもの、
首相には応じる気配が無い。
国賊と呼ぶほかあるま
い。(中)

盤を確かなものとしてから国

現実に

も地方選挙に特化して政治基
盤を確かなものとしてから国

政選に臨む現実路線の主張が
よく為されますが、国政選へ
の流れのない地方選は、地方
議員を輩出できればできる程
議員の地位の個人的確保が優
先される方向に転じてしまふ
ことが目に見えてをります。
あくまでも国政への志向 (政
治勢力化) を国民に示して心
ある賛同者を糾合して行かな
ければなりません。決して
容易な道ではありません。勿
論その流れの中で地方選への
取り組みを並行して行くこと
は当然です。

本紙目次
一頁：
● 主体的政治勢力化へむけて
内なる戦後体制の超克が必須
二頁：
● 新風 ニュース 他
(裏面へ続く)